

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	9 管理運営等
中項目	
小項目	9.0.1 管理運営の独立性
要素	①会計大学院における教育活動等を適切に実施するためにふさわしい独立の運営の仕組みを有していること。 ②会計大学院の教育課程、教育方法、成績評価、修了認定、入学者選抜に関する重要事項については、会計大学院の教育に関する重要事項を審議する会議における審議が尊重されていること。 ③教員の人事に関する重要事項については、会計大学院の教員の人事に関する会議における審議が尊重されていること。 ④会計大学院における教育活動等を適切に実施するためにふさわしい十分な財政的基礎を有していること。
小項目	9.0.2 自己点検及び評価
要素	①会計大学院の教育水準の維持向上を図り、当該会計大学院の目的及び社会的使命を達成するため、当該会計大学院における教育活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表していること。 ②自己点検及び評価を行うに当たっては、その趣旨に則し適切な項目を設定するとともに、適当な実施体制が整えられていること。 ③自己点検及び評価の結果を当該会計大学院の教育活動等の改善に活用するために、適当な体制が整えられていること。 ④自己点検及び評価の結果について、当該会計大学院を置く大学の職員以外の者による検証を行うよう努めていること。
小項目	9.0.3 情報の公表
要素	①会計大学院における教育活動等の状況について、印刷物の刊行及びWEBサイトへの掲載等、広く社会に周知を図ることができる方法によって、積極的に情報が提供されていること。 ②会計大学院の教育活動等に関する重要事項を記載した文書を、毎年度、公表していること。
小項目	9.0.4 情報の保管
要素	評価の基礎となる情報について、適宜、調査及び収集を行い、適切な方法で保管されていること。

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 財政的基礎を確保するために、入学定員充足率1.0を維持する。	→定員充足率	C	B	C	/	/
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

☆	目標1	頻繁な入試説明会の開催(全体8回;自治体会計コースのみ4回)にも関わらず、公認会計士試験制度の改正法案廃案や監査法人による合格者の採用数大幅減といった会計プロフェッションを巡るマクロ、業界環境の激変によって2012年4月30日現在の定員充足率は73%に留まることとなり、定員充足率の安定的な確保に向けた見通しはかなり悪化した。現行の政策および体制のままでは今後さらに入学者数が減少する恐れが強いため、現在の政策を所与とする場合には定員の削減が、定員確保を目指す場合は事業ポートフォリオの見直し等がポイントになる。
	備考	